

萩野町内会だより

第1号

令和8年1月6日

発行：萩野町内会

文責：会長



新年明けまして おめでとうございます



町内会々員の皆さま方にはつつがなく健やかに新年をお迎えの事とお慶びを申し上げます。

自身も穏やかに健やかな新年であります様にと、思いを込め、呼吸器科に持病をもつ家族もあり、師走前にはインフルエンザとコロナの予防接種を終えたものの“喉”に違和感を覚え医療機関を受診すると「予防接種は100%では無いので検査をお勧めします」言われコロナ患者の様な扱いでした。

が、間もなく待機車で携帯電話が鳴り「感冒症状」です。との診断で抗生物質の静脈注射と飲み薬を処方され、結果的に予防接種のお陰か、等々…「備えあれば患いなし」と胸を張って見たものの、先の青森県東方沖地震に伴う津波注意報時には避難行動を取らなかった事との矛盾に…自らの自分勝手をも思いました。

新年の神社は清廉な空気や新しい始まりを感じさせます。初詣、この空気感、やつぱりお正月の感じがして良いですね！



自分勝手と言えば、昨年11月9日に函館市民会館で開催された泊原発3号機の再稼働を巡る住民説明会に参加したが、経産省・ほくでん職員と北海道庁からの説明者が合わせて30名程も、方や“受講者”は20名弱と、地域住民の関心は乏しな～と感じました。

翌日の報道に依る街の人の反応は「原発は経済性に勝るから！」「温室効果ガス排出量の削減に叶うから！」「電気は絶対に必要だから！」等々は、どれも一般通念もしくは固定観念ばかり、自分事としての捉えは無かった。トイレの無いマンションで良いのですか、再生可能エネルギーもあり、みんなが電気の使用をチョッと我慢すればナ～なんて…、午年に因み何とか「(馬九行久)うまいく」としたいものです。

萩野町内会 総会のご案内!!

先の総会から“白駒の隙を過ぐるが如し”でもう一年が過ぎ、今年も会員みな様の「思いと声」を町内会運営に反映させる町内会総会の時期になりました。

各会員みな様にはそれぞれにご都合は有るかと思存しますが年1回の総会です。開催日までに十分な時間も有ります事からスケジュール調整にて多くのご参集をお願いします。

尚、総会後の「交流会」を計画しております。みな様方の参加で運営が叶う町内会活動です。忌憚の無いご意見をお願いします。



開催日：令和8年2月11日(水)
10時より

今年も神社境内裏で「どんど焼き」を行います。

神事からの名残の様で最近では宗教的意味合いが無くなっていますが、日々の生活の区切りとして恒例に習い神社の境内で松飾りや神棚のお札などの火の粉にあたっては如何ですか…



会員みな様には左右が逆さまに書かれた「馬」の文字を見た事がありましたか、これは「左馬（ひだりうま）」と呼ばれ、古くから大変縁起が良い物とされています。

逆さまの馬が縁起物になった理由は幾つか有り、まずは馬を逆さに読むと「まう（舞う）」に通じ「舞い」はお祝いの席で披露され「福が舞い込む」として家運隆盛の象徴とされました。

次に、馬は人が引いて歩きますが、逆さまの馬は「人が馬を引く」のでは無く「馬が人を引き寄せる」ように見える事からや「商売繁盛」につながる。事



また、馬は左側から乗ると転ばないという性質があると言い「人生を読み違えない、つまずかない」と言う事でお守りの意味も込められている様です。

今年の干支「午（うま）」は古くから豊作や健康を運んでくる縁起の良い動物でした。

ちなみに、人が願い事を書く「絵馬」は、かつては本物の馬を奉納していた名残だそうです。

馬は群れで行動し、仲間とのコミュニケーションを大切にする動物です。私たちも馬の様に互いに力を含めて地域社会を盛り込みたいと思います。

馬の話が続き恐縮ですが汐首山（函館市）に放牧した馬が野生化して自分達のコロニーを形成している事はご存じでしたか。

群れは2グループがあり 20 頭前後でグループを渡る馬もいる様でグループが大きくなったり小さくなったり、飼い主は特段の管理はしていない様で自由な暮らしを謳歌し



わが世の春を堪能している。と聞き仲間と見に行きましたが、創造よりも野性味いっぱい。体毛もたてがみも伸び放題で自由な暮らしのツケをたくましく全身にまもっていました。

古来より馬は「うまく（馬）いく」と前進と躍進の象徴です。馬が全速力で姿は「天馬行雲（てんまこうくう）」と、
 そうで、あやかりたや…（町内会長）